

備北ナカポツ だより

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS
No. 39

令和5年
7月1日発行

●発行所／三次市十日市東三丁目14-1三次市福祉保健センター1F TEL. (0824) 63-1896 FAX. (0824) 63-1897
一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター
http://care-net.biz/34/bihoku-c/ E-mail/info@bihokucenter.com

「ナカポツ」は障害者就業・生活支援センターの通称名です。

職場拝見



今回は、全国の病院や福祉施設で食事サービスを提供している日清医療食品株式会社の三次中央病院事業所を訪問して、責任者の伊達さんと野曾さんからお話を伺いました。



伊達さん(右)と野曾さん

日清医療食品について 教えてください。

日清医療食品(株)は給食の受託業務を行っている会社です。病院や福祉施設、保育所など様々な場所で食事を提供しています。

「お客様の信頼と満足を得る心のもった食事サービスを提供する」が日清医療食品のテーマです。

三次中央病院事業所について 教えてください。

市立三次中央病院栄養科内にあります。従業員26名で、日々業務に励んでいます。急性期病院なので様々な病態

で入院されている患者様へ食事を提供しています。1日約500食の食事を提供しており、食種は多岐にわたります。

事業所での障害者雇用の 状況について教えてください。

事業所内では現在、2名の方が働いています。仕事の内容は下処理(野菜や果物の洗浄・殺菌、皮むきなど)や盛り付け、配膳、清掃などです。雇用のきっかけはナカポツから問い合わせがあり、面接をして採用することとなりました。

配慮されていることがあれば 教えてください。

面接の時、障害の内容を把握し「できることとできないこと」「難しいことでも慣れればできること」「まったくできないこと」などを詳しく話し合い、その人に合った仕事をしてもらいます。

最初の1か月から2か月は教える人とペアになり、何でもすぐに聞ける環境で働いてもらいました。

また、できないことはまわりの人が手伝うなど、みんなが協力的で理解があるので、とても助かっています。

障害者を雇用しての感想を 教えてください。

一緒に働いている従業員の声を紹介します。

「最初は作業ごとに同じことを繰り返して伝えなければならぬので大変でしたが、徐々に毎日することを覚え、現在では時間を見て一人でできるようになりました。」

「とても明るく、積極的にコミュニケーションができるのすごいなと思いました。」

「仕事で通常より時間がかかることもありますが、真面目に仕事をしているので感心しました。」



職場のみなさんと

ナカポツに対する要望があれば 教えてください。

毎月のように面談に来ていただいていたかっています。またお話があれば次の雇用を考えますので、よろしくお願ひします。

ありがとうございました。

私たち 羽ばたいています!



野曾 愛美さん

日清医療食品に就職したきっかけを教えてください。

以前、三次市内の飲食店に勤めていましたが、そのお店が閉店となり、ハローワークで仕事を探していた時にナカポツを紹介されて、その支援で日清医療食品に就職することができました。就職して7か月になります。



仕事の内容を教えてください。

調理場での作業で、主に配膳車の清掃や野菜の下処理などを行っています。



仕事はどのようですか？

最初のうちは覚えることがたくさんあり、戸惑いもありましたが、職場の皆さんが丁寧に教えてくださり、今は大分慣れてきました。

仕事を始めて、変わったことがありますか？

毎日、お母さんが弁当を作ってくれています。本当に感謝しています。

今後の目標を教えてください。

今は1日5時間の勤務ですが、フルタイムの7時間働けるようになりたいです。仕事は少しずつ立っているため、しんどい時もありますが、頑張りたいと思います。

ありがとうございました。

事業所紹介

社会福祉法人 庄原さくら学園が運営するグループホームについて、サービス管理責任者の柳田さんにお話を伺いました。



サービス管理責任者の柳田さん

社会福祉法人 庄原さくら学園について教えてください。

1963年8月に障害児入所施設「さくら学園」を運営する法人として設立されました。

その後、障害者の入所施設「庄原もみじ園」を開設し、1993年にはグループホーム「もみじ」を開設しました。

2011年からは地域密着型の事業として通所施設「青空」や共同生活援助事業「そよ風」をスタートさせ、現在では8種類の障害福祉サービスを提供しています。

地域の皆様に支えられ、今年で設立60周年を迎えました。設立当初の

理念である「恕而行之」(思いやりの心をもってこれを行う)の心で、さらに前進して行くために、障害者支援の経験と専門性を生かし、これからも利用者の方と向き合っていきたいと思えます。



外観

新たに開所したグループホームについて教えてください。

庄原市水越町にあった知的障害者のグループホームを移転し、七塚町に新たに施設を整備しました。

「南風荘」と「春風荘」の2棟があり、南風荘は定員10名で65歳以上が対象です。もうひとつの春風荘は定員7名で64歳以下が対象です。以前の入居者がそのまま転居され

たため、現在は満室となっております。
また、新たな事業として短期入所を1室取り入れています。

今回、移転したきっかけを教えてください。

以前のグループホームは廃校となった小学校を改修して利用していましたが、山間地で土砂災害警戒区域のため、台風や豪雨の際は夜間避難対応や道路の分断、停電など災害に弱く、年に数回の避難が必要でした。災害に対する安全確保が理由の一つです。

また、高齢者を含む入居者への対応として新たな住まい事業「グループホーム」の展開と、生活支援事業の拠点にするための施設整備改善を行うことになりました。

グループホームの特徴を教えてください。

防災の面では心配がなくなり、寒さについても改善されました。明るい日の光が差し込む部屋がそろっています。

入居者は作業所へ通所している方、就労をされている方と様々です。『ひとりひとりの希望や夢に寄り添い、地域で自分らしく自信を持って暮らせるためのサポートを行い、共感し支え合える関係性を築く』をモットーにして取り組んでいます。



南風荘玄関

今後の展望を教えてください。

2024年度に向けて、七塚町のグループホーム内で日中支援型事業（生活介護）の新設を検討中です。サービス利用のために別の施設まで通所する必要を無くし、自分の生活しているグループホームの中で生活介護が受けられることが目的です。将来にわたり長く利用できる施設を創っていきたくと考えています。

最後に一言お願いします。

社会福祉法人庄原さくら学園は児童系サービス、相談、通所、入所施設、共同生活援助と、利用者のライフステージに合わせた支援体系を持っています。

ニーズに合わせた支援をその都度提供できることは、ご家族にとっても安心していただけたところだと思います。

ありがとうございました。

第3回就活支援交流会を開催しました

「仕事に就きたいけどなかなかその気になれない…」 「まわりの人とうまく仕事ができるか不安…」 など、就職するため、働き続けるためのいろいろな心配事や不安を話し合う交流会を6月10日（土）に開催しました。

当日は高校の学校事務アシスタントをされている藤井大輔さんを迎え『気づかなかった自分を見つめてみませんか』と題してトークセッションを行い、その後に2つのグループに分れて話し合いを持ちました。

藤井さんは大学卒業後、仕事に就いてもうまくいかないことが多く、転職を繰り返して



グループワーク

いました。そんな時、発達障害の本に出会い、自分に当てはまることが多いことに気づいて、専門病院を受診し「広汎性発達障害」と診断されました。

自分のこれまでの失敗は自分の能力の問題ではなく、発達障害の特性によるものだと知って、安心したそうです。

また、仕事以外にも多彩な趣味や奉仕活動など色々なお話を聞くことができました。

参加者からは「藤井さんのお話で、自分を客観視することが大切だということを知りました。」「障害について深く話すことができよかったです」などの感想をいただきました。



トークセッションをする藤井さん（右）

在職者交流会を開催しました

5月20日(土)に庄原市保健福祉センターで第1回目の在職者交流会を開催しました。今回は庄原市保健医療課の栄養士・田端早苗さんを講師にお招きして「生活習慣病予防のための食生活」をテーマにお話しいただきました。

食事は毎日欠かせないものですが、偏った食生活が大きな病気に繋がることを学習しました。また、飲み物に含まれ



る糖分についても、500mlのコーラや果汁飲料水に角砂糖が16個から17個入っていることを知り、摂り過ぎに注意が必要なのも勉強しました。

研修した後は、参加者全員でカレーとサラダを調理し、昼食をとりました。

健康に関する学習と料理を通しての交流で、参加者の皆さんにとって日頃のストレスを解消する良い機会となりました。



お知らせ

障害者雇用企業等研修会を開催します

三次市内で「キッズさぽーと yui」などの障害児への福祉サービスを提供されている水越ひろ子さんを講師にお迎えして研修会を開催します。

- と き／令和5年8月4日(金) 午後1時30分～
- と ころ／みよしまちづくりセンター ペペらホール
三次市十日市西6丁目 10-45
- 講 演／「ダイバーシティを求められる現在、あなたの会社はどうしますか？」
- 申込方法／7月28日(金)までに備北障害者就業・生活支援センターまで電話、ファックスまたはメールでお申し込みください。(お問合せも同じ連絡先をお願いします)
電 話：0824-63-1896 ファックス：0824-63-1897
Email：info@bihokucenter.com
QRコードからも申し込みができます。➔
- 講師紹介／水越 ひろ子



一般社団法人 結 代表理事
福祉キャリアセンター 非常勤講師 (強度行動障害支援者養成研修)
Happy&smile カレッジ 非常勤講師 (介護福祉士実務者研修)
尾道福祉専門学校 非常勤講師 (行動援護従事者養成研修)
三次市社会教育委員
日本福祉大学 福祉経営学部在学中



センター活動実績

(令和5年6月16日現在)

- 就職者数 477件 (H22年4月から累計)
- 企業実習 330件 (H22年4月から累計)

職種

就職先：食品製造、製造業、福祉施設、
運送業、病院、日用品販売量
販店、農業、建設業 etc

編集後記

5月8日、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変更され、日常生活に変化が出てきました。

飲食店ではパーテーションがなくなり、検温や消毒も任意になり、マスクを付けない人も段々と増えてきました。

梅雨の時期や暑い夏にマスクをするのはとても苦痛だったので、規制が緩和されてほっとしています。

しかし、コロナの感染自体が収まったわけでもなく、新しい変異株も出てくる可能性があります。

これからも屋内でのマスクの着用やワクチンの接種など、コロナに感染しないための努力は続けていきたいと思います。